

社会的弱者を守るために

出エジプト記二二章

寄留者を虐待してはならない。抑圧してはならない。あなたがたもエジプトの地で寄留者だったからである。(20)

ここには在留異国人、寡婦や孤児、貧しい者など社会的弱者を守るための教えが語られています。イスラエルの民の中には、一緒にエジプトを出てきた外国人が含まれていました。神は「抑圧してはならない」と命じます。どこの国においても、寄留している外国人というものは差別を受けたり、嫌がらせをされたりするものです。全ての民の主であられる神は、そのような外国の人々をも顧みておられます。このとき神は、「あなたがたもエジプトの地で寄留者だったからである」と述べています。かつてのエジプトでの奴隷体験は、自国にいる外国人を思いやるために用いられるべきであるというのです。自分たちが苦勞した分だけ、他者を思いやることのできる者となるべきなのです。全ての人を愛される神の愛を、私たちの周りに生きる人たちに分け隔てなく伝えていきたいと願います。